



(M.S.) 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2023 年 3 月 8 日～3 月 17 日 (10 日間)

I. プログラムについて

私は、「実際に海外での日本語教育現場を見てみたい、体験したい」と思い、この実習に参加することを決めました。10 日間というのは長いように思えますが、精一杯日々をこなしていく内にあっという間に過ぎ去っていきます。授業は、50 分のものを 3 コマ担当させていただきました。1 クラス 15 人程度のクラスもあれば、40 名近いクラスもありました。教案は実習に行く前に作成し、丸山先生や指導担当の先生に見ていただいたりしましたが、現地で大幅に修正することもありました。

土曜日や日曜日はチューターさんたちが台中市内に連れて行ってくださいます。観光地や有名なアイスクリーム屋さん、夜市などさまざまな場所へ行き、台湾の文化などにたくさん触れることができました。土曜日、日曜日だけでなく平日も昼食や夕食を一緒に食べたりして下さるので、学内外で思い出がたくさんできると思います。

II. 参加希望者へのアドバイス

実習に行く前は、授業のことはもちろんのこと、台湾での生活など不安なことも多いと思いますが、台湾へ行ってしまえば他の実習生やチューターさん、現地の先生など助けになってくださる方はたくさんいらっしゃいます。授業のことや現地での生活のことなど何でも相談に乗ってくださると思うので、とりあえず相談してみるといいかと思えます。

授業に関しては、良くも悪くも 100%教案通りにはいかないと思います。日本人相手に練習している時はうまくいっても、実際はうまくいかないことも多いので、時間が余ってしまった場合、逆に時間が足りなくなってしまった場合など、ハプニングに対応できるようにさまざまなプランを考えておくと不安も軽減されると思います。

実習に行く前も行ってからも授業などへの不安があったり大変なことも多かったですりしますが、とにかく楽しむことが大切です。学生のうちに海外で日本語教育の場を生で見られる貴重な機会なので、参加して悔いはないと思います。





(C.A.) 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2023 年 3 月 8 日～3 月 17 日 (10 日間)

I. プログラムについて

台湾の静宜大学にて、中、上級の日本語を教える授業を担わせていただくプログラムです。準備期間および現地での活動時間が限られているため、迅速に、且つ用意周到に行動する必要があります。

週末は現地のチューターに観光地を案内していただけます。平日は自分の実習や、他の参加者の実習の見学、指導教員の授業の見学、教案の修正などをして過ごします。

II. 参加希望者へのアドバイス

実習について:とにかく事前準備は万端にしておいた方が良いでしょう。事前に指導教員と綿密に連絡を取り、最低限、生徒数、生徒の名簿、使用教室の設備や机の配置、生徒の学習度合い、教室の雰囲気は聞いておくのをお勧めします。また、「現場と想定は違う」というのはかなり意識しておくべきであろうと思います。どう転がってもいいように教案にゆとりを持たせておくのが得策です。例えばパワーポイントを使う予定であっても、使えない場合どうするか、まで考えておくなどです。また、トラブルは絶対に起こると想定して動いた方が良いでしょう。

生徒たちは、ある程度の文法は初級授業で済ませているため、既習の内容を授業で扱うならば文法項目よりも文化を中心に取扱い扱った方が生徒にも指導教員にも受けがいいように思います。

生活について:物価が日本の約 1/4 程度のため、台湾産のものは安いです。しかし、日本産のものは高いです。寮と同じ建物にあるコンビニには 4 割くらい日本のものが置かれています。大体日本円で 4、5 万相当のお金を持っていけばある程度どうにかなると思います。もしなくなっても現地の銀行で下ろすことができますが、空いている時間が限られているため早めに済ませると良いでしょう。ですが、手数料が結構高くなります。

飲み物はミルクティーがかなり多く、ストレートティーやレモンティーはほぼ見かけません。伊藤園のお茶が売られており、無糖のお茶が買えます。朝ごはん屋さんは開店時間が早く、6 時から開いているところもあります。店内に入っても水が出てくる飲食店はあまりなく、代わりに、別店の飲み物を持ち込むのは構わない様子でした。

台湾はバイク社会で、あちこちでバイクやら車やらが路駐されています。道が雑然としているため、一人で出歩くのは推奨しません。台湾は日本より若干暖かいため、日本出発時と同程度か少し薄い位の服装が良いと思います。また、虫除けがあると夜中も安心です。

祝い事があると爆竹を鳴らす習慣があるので、発砲音のようなものが聞こえるのが日常茶飯事です。親戚の人がとても多いです。

その他:静宜大学の日学事務所宛に、何かお土産を空港辺りで購入しておく印象が良いと思います。また、チューターの方々にも、日本のものを簡単に用意しておくが良いと思います。

